

平成24年度 女性のチャレンジ賞 受賞者

(各賞ごと 50音順・敬称略)

女性のチャレンジ賞 受賞者（全3件）

受賞者名	所属	都道府県	活動内容
いわおか 岩岡 ひとみ	特定非営利活動法人 全国福祉理美容師養成協会事務局長	愛知県	<u>外出困難者へ訪問理美容サービスを提供する有償ボランティア活動を展開、離職した女性理美容師の再就職にも貢献</u> 仕事と育児を両立しながら、特定非営利活動法人全国福祉理美容師養成協会の事務局長として事業の企画・調整等に携わるとともに、1児の母として自身の経験を活かし、出産・育児・介護等の諸事情により、理美容室の就労形態に合わず離職を余儀なくされていた有資格者に対し、ワーク・ライフ・バランスを考慮した新たな就労形態による「訪問理美容師」としての雇用の場を提供。女性が働き続けられる環境を整え、介護・福祉の技術や知識を独自のプログラムにより伝達するなど、女性の就業支援にもつなげる事業を積極的に展開している。
いわい まゆこ 岩井 万祐子	株式会社ホト・アグリ 代表取締役	静岡県	<u>技術者として優れた野菜栽培技術を開発、自ら起業し新産業を創造</u> 技術者として優れた技術開発を成功させただけでなく、自ら起業し新産業を創設。子育て中でありながら、大学院に通い、仕事でも第一線で活躍。優れた研究成果を導き出し、また理論だけでなく実際に商品開発、農業現場への普及を実現。女性の手で回せる農業を目指し、食の安全に敏感な主婦の厳しい視点が必要という方針のもと、スタッフは全員子育て中の女性を採用。一般的に厳しいといわれる農業の現場で、時間制約のある女性にも働きやすい午前中だけの作業としたり、腰を曲げない作業を可能とするなど女性が働きやすい環境を整えている。
おくの みよこ 奥野 美代子	福岡県認定農業者女性部会会長	福岡県	<u>農業分野における女性の経営参画を強力に推進、女性農業者のネットワーク構築に尽力</u> 男女共同参画社会の実現を目指して女性農業者による「元気な筑豊を目指す農業女性の会」を発足させ、地元市やJA等各機関に農業委員等への女性登用を働きかけるなどの活動を行いつつ、地域で女性の経営参画を推進し、県認定農業者女性部会を設立し、会長となるなど、ネットワークの構築に尽力している。さらに女性農業者の活動を促進させるため、JA女性部加工部に女性起業を働きかけ、弁当屋「旬菜ほなみ」を開業、売上げを順調に伸ばすなど、女性農業者の活躍の場を拡げただけでなく、地域の活性化にもつなげている。

女性のチャレンジ支援賞 受賞者（全1件）

受賞団体名	代表者氏名	都道府県	活動内容
特定非営利活動法人 やまがた育児サークル ランド	代表 のぐち ひろみ 野口 比呂美	山形県	<u>育児サークルの活動の枠を超えた先駆的な取組・急増する福島県からの避難母子に対する幅広い支援</u> 東日本大震災発生後、山形県には全国で最も多くの方が避難されているが、当該団体は、福島県からの避難者に母子世帯が多い現状に着目。こうした親子の孤立を防ぎ、避難先でも健全な子育てができるよう、交流の場としての「親子サロン」の開設、避難している母親らの育児サークルの立ち上げ・運営支援を県内各地で行うなど、避難している母親らの視点に立った迅速・的確な支援を行った。避難者の女性が自ら主体的に支え合い、活動・発信できる仕組みづくりを展開し、災害弱者となりがちな女性の声を避難者支援策に反映させることに貢献している。

女性のチャレンジ賞特別部門賞(防災・復興)受賞者(全4件)

受賞者名	所属	都道府県	活動内容
いのうえ 井上 いほり	本荘まちづくり協議会 会長	岐阜県	<u>東日本大震災の教訓や女性の視点を活かした自治会活動、まちづくり活動を精力的に展開</u> 地域防災・減災の活動を進める「本荘まちづくり協議会」の結成に尽力。さらに自治会組織の会長は、全国的にも男性が多い中、岐阜市50地域の自治会連合会長として初めての女性会長となり、女性ならではの視点を生かした自治会活動やまちづくり活動、また高齢者や障害者等への支援及び地域防災体制づくりを精力的に展開。特に、東日本大震災を機に、地域住民の見守りを重点課題とし、災害時の敏速な安否確認システムの構築と災害時要援護者支援マップを作成するなど、女性の感性を十二分に生かしたきめ細やかな活動を推進している。
さの 佐野 ハツノ	いいたてカーネーションの会代表	福島県	<u>仮設住宅で避難生活を送る高齢者の元気を取り戻すために「までい着」の製造を開始</u> 震災後、全村避難を余儀なくされた飯館村において、自ら被災者として苦境に立つ中で、これまで「商品」として認識されていなかった古着を利用した「までい着」や半纏などを製造、販売することで、放射能汚染により農業が継続できなくなった女性たちに、自ら質の高い商品を作ることができる担い手であることを気づかせ、自らの力で収入が得られるということを実証し、女性の経済的自立支援に貢献した。仮設住宅で避難生活を送る高齢女性の意欲と元気を取り戻すためのこうした取組は、県内外における復興活動のモデルにもなっている。
みやぎジョネット	代表 くさの ゆうこ 草野 祐子	仙台市	<u>震災後、被災地女性と全国の支援者の思いを結ぶことを目的に「みやぎジョネット」立ち上げ</u> 東日本大震災後、女性たちへのエンパワメントを重視し、全国からの支援物資を、被災地の女性のニーズにあわせて確実に届けるなどの、被災地の一人ひとりの女性たちの心身の立ち直りへの支援に加えて、編み物等の技術を生かした物品の製品化や、津波で被害を受けた海産物販売の再開・起業支援、資格取得を目指す講座の実施など、被災地の女性の自立・復興を総合的に支援する活動を展開。さらに被災地の現状を全国に発信し、行政等への提言活動にも熱心に取り組むなど、他の女性支援の活動を牽引する役割を担っており、被災地における女性の復興に大きく貢献している。
特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて	代表 ひらが けいこ 平賀 圭子	岩手県	<u>被災女性の個別ニーズに配慮した物資及びサービスを提供。被災地での女性専用の相談事業を積極展開</u> 災害時に見過ごされがちな女性被災者のニーズに配慮した物資を届けたほか、阪神大震災や中越地震の経験から、被災地でDVや子育て不安などの悩みが増えることを想定し、女性専用のホットラインや大型スーパーでの女性専用窓口をいち早く開設した。また、被災女性を雇用し、仮設住宅で暮らす高齢者などを対象とした買い物代行を行いながら、商品を届ける際に被災者の安否や健康状態を確認するとともに悩み相談等にも対応する事業を展開するなど、行政支援が行き届かない部分を補う形で、民間団体ならではのきめ細かな対応を行っている。